

# JA やさと 3 力年計画兼自己改革工程表兼進捗管理表

## I. 農業 <重点目標> 農業者の所得増大 <所得増大効果：想定> 令和6年度：495 百万円

### 【自己評価について】

○（計画どおり）、△（遅れ気味）、×（遅滞）の3段階で評価しています。  
 なお、数値目標のあるものは、進捗状況を○（80%以上）、△（80%未満～50%以上）、  
 ×（50%未満）で評価しています。

JA 新3力年（令和4年度～令和6年度）計画兼自己改革工程表 「I. 農業」

### ●重要戦略1 地域を支える多様な担い手の確保と経営力強化

<3年後目指すもの>

JAの総合機能を発揮し、普及センター、行政等と連携しながら、担い手の農業経営管理支援（農業経営コンサルティング）として経営分析や経営改善指導に基づき農業経営収支の改善を後押しし、継続して農業者の所得増大を目指します。

### 取組項目（1）多様な担い手の確保

【責任部署 営農流通部営農指導課（営農指導事業）】

《取組施策》①担い手育成に向けた経営継承等の支援

年度	目標値（KPI）または実績値	取組事項	
4	目標 新規就農者数：1人 （有機栽培） 新規作付面積：1ha 販売数量：12,000点	ア. 新規就農者相談体制の強化 農業三士（農業経営士、女性農業士、青年農業士）および行政等関係機関との連携を図り、地域の情報共有。 イ. 新規就農者育成 技術や農業経営にかかる研修会の実施、および生産部会、青年組織との交流等の実施。 ウ. 就農に関する情報発信 高校や大学と連携した就農者向けセミナーの開催や新規就農者の活動を SNS や広報誌への定期的掲載。	
	実績 新規就農者：1人 販売：11,522点	ア. 新規就農者相談を R4/10/11・R4/11/29 に実施した。 イ. 新規就農者育成の為、週1回ペースで指導農家による講習を行った。 ウ. 研修生の活動を SNS で発信した。	自己評価 △
5	目標 新規就農者数：2人 （有機栽培） 新規作付面積：2ha 出荷数量：47,000点	同上	
	実績 新規就農者：2人 販売：59,157点	ア. 新規就農者相談を R5/7/1・R6/1/20 に実施した。 イ. 新規就農者育成の為、週1回ペースで指導農家による講習を行った。 ウ. 就農者の活動を SNS で発信した。	自己評価 ○
6	目標 新規就農者数：2人 （有機栽培） 新規作付面積：2ha 出荷数量：47,000点	同上	

取組項目（2）地域農業を支える中核担い手（トップランナー含む）への支援

【責任部署 営農流通部 農政企画課（営農指導事業）】

《取組施策》①所得増大に向けた農業経営管理支援の強化

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項	
4	目標	広報誌や SNS、メディア媒体等を活用した記帳代行会員の拡大（15 人） 専門職員の養成：3 人	ア. 記帳代行会員の拡大 1) 会員募集に向けた広報に関する広報関係部署との協議・展開 2) 会員数 2 人増（会員総数 15 人） イ. 専門職員の養成 1) 各種専門研修会への参加 3 名参加	
	実績	会員：13 人 養成：1 人	ア. 記帳代行委員の拡大を推進したが現行 13 人となっている。 イ. 専門職員の養成講座に 1 人参加した。	自己評価 △
5	目標	広報誌や SNS、メディア媒体等を活用した記帳代行会員の拡大（17 人） 専門職員の養成：5 人 農業経営コンサルティング部署の設置及び経営分析や部門間連携によるコンサルティング実施（15 件）	ア. 記帳代行会員の拡大 1) 会員募集に向けた広報に関する広報関係部署との協議・展開 2) 会員数 2 人増（会員総数 17 人） イ. 専門職員の養成 1) 各種専門研修会への参加 5 名参加 ウ. 経営分析や部門間連携コンサルティング実施 1) 経営分析面談会の実施 15 人実施	
	実績	会員：13 人 養成：1 人	ア. 記帳代行会員増員のため、青色申告会員へ推進を行ったが、変わらず 13 人となっている。 イ. 専門職員養成に 1 人参加した。 ウ. 面談会の実施 13 人参加	自己評価 △
6	目標	広報誌や SNS、メディア媒体等を活用した記帳代行会員の拡大（20 人） 専門職員の養成：8 人 農業経営コンサルティング部署の設置及び経営分析や部門間連携によるコンサルティング実施（17 件）	ア. 記帳代行会員の拡大 1) 会員募集に向けた広報に関する広報関係部署との協議・展開 2) 会員数 3 人増（会員総数 20 人） イ. 専門職員の養成 1) 各種専門研修会への参加 8 名参加 ウ. 経営分析や部門間連携コンサルティング実施 1) 経営分析面談会の実施 17 人実施	
	実績			

【責任部署 営農流通部 営農指導課（営農指導事業）】  
 《取組施策》②地域農業を支える担い手の組織基盤強化支援

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項	
4	目標	やさと地区農地 耕作面積：2,660ha 耕作放棄地の解消：1ha 集落営農組織の 設立：1組織 農業生産法人の 設立：1法人	ア．地域の話合いの場づくり 定期的な座談会等の開催による意識醸成、情報共有や意見交換等場の設定。 イ．支援措置などの情報提供、研修会の開催。 ウ．集落組営農の組織化 農業生産法人の設立 市町村、県関係機関との連携や農業参入等支援センター等の活用、集落営農の組織化・法人化	
	実績	解消：1ha 集落営農：0 農業法人：1	ア．地域の話合いの場を恋瀬地区において頻繁に開催した。 イ．株式会社ベジタブルフューチャーやさと法人化を支援した。	自己評価 △
5	目標	やさと地区農地 耕作面積：2,661ha 耕作放棄地の解消：1ha	ア．地域の話合いの場づくり 定期的な座談会等の開催による意識醸成、情報共有や意見交換等場の設定。 イ．支援措置などの情報提供、研修会の開催。 ウ．集落組営農の組織及び農業生産法人による耕作拡大 キャベツ・たまねぎ（水田利用可）の作付け	
	実績	解消：1ha	ア．引き続き恋瀬地区において地域の話合いを開催。 イ．研修会は開催できなかった。 ウ．農業生産法人によるキャベツ・たまねぎ作付けを中心に解消を行った。	自己評価 ○
6	目標	やさと地区農地 耕作面積：2,662ha 耕作放棄地の解消：1ha	同上	

●重要戦略 2 所得増大に向けた生産力強化

< 3 年後目指すもの >

普及センター、行政等と連携して、生産性の向上や生産トータルコスト低減による生産力強化の取組みをすすめ、農業者の所得増大を目指します。

取組項目（1）担い手へ出向く体制の拡充と営農指導の強化

【責任部署 営農流通部 農政企画課 営農指導課（営農指導事業）】

《取組施策》担い手へ出向く体制の拡充と営農指導の強化

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項	
4	目標	営農指導員資格 保有率：40% 外部研修参加回数： 年 5 回 普及センターと連携 した研修：年 6 回	ア. 営農指導員・TAC にかかる情勢変化に応じた知識習得 中央会、全農いばらき等の外部研修への参加及び資格取得。 イ. 生産技術の高位平準化による強い産地づくり 普及センターと連携した生産トータルコスト低減の取組みや、 高い技術を持った生産者等と連携した栽培技術講習会等の開催。	
	実績	指導員 36% 外部研修 8 回 普及 10 回	ア. 外部研修参加 イ. 普及センターとの連携	自己評価 △
5	目標	営農指導員資格 保有率：45% 外部研修参加回数： 年 6 回 普及センターと連携 した研修：年 7 回	同上	
	実績	指導員 46% 外部研修 7 回 普及 18 回	ア. TAC 研修及び営農指導者連盟研修に参加。 イ. 採種品質、梨の生産向上、有機米の生産向上の為、 普及センターと連携。	自己評価 ○
6	目標	営農指導員資格 保有率：50% 外部研修参加回数： 年 7 回 普及センターと連携 した研修：年 8 回	同上	
	実績			

取組項目（2）生産性の向上、生産トータルコスト低減の取組み

【責任部署 営農流通部 営農指導課（営農指導事業）】

《取組施策》①土壌診断に基づく適正施肥による生産性の向上・生産トータルコスト低減に向けた取組み

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項	
4	目標	土壌診断：710 件 実施面積：71ha	ア. 適正施肥による生産性向上・生産トータルコスト低減 普及センター、全農いばらきと連携した土壌診断の実施と土壌 改良後の収量および肥料・農薬供給数量前年対比等の分析および 改善	
	実績	土壌診断：676 件	ア. 土壌診断実施	自己評価 △
5	目標	土壌診断：720 件 実施面積：72ha	同上	
	実績	土壌診断：669 件	ア. 土壌診断実施	自己評価 △
6	目標	土壌診断：730 件 実施面積：73ha	同上	
	実績			

【責任部署 営農流通部 農政企画課（営農指導事業）】

《取組施策》②生産資材のコスト低減にかかる取組み

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項	
4	目標	農薬大型規格品： 8,500 千円（価格低減 効果 2,000 千円）	ア．農薬の大型規格導入による価格低減 全農いばらき等と連携した銘柄選定と対象農家の選定の実施	
	実績	9,730 千円	ア．農薬大型規格導入による価格低減効果	自己評価 ○
5	目標	農薬大型規格品： 9,000 千円（価格低減 効果 2,000 千円）	同上	
	実績	農薬大型規格品 10,000 千円（価格低減 効果 2,000 千円）	同上	自己評価 ○
6	目標	農薬大型規格品： 10,000 千円（価格低減効 果 2,000 千円）	同上	

【責任部署 金融課（信用事業）】

《取組施策》③農業者への貸出にかかる資金のトータルコスト低減支援

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項	
4	目標	農業資金 新規実行額：104 百万円 利子助成件数：40 件 農機導入助成件数：5 件	ア．農業資金の融資強化に向けた渉外担当者の人材育成 イ．貸出渉外担当者による定期的なメイン先訪問 ウ．農業近代化資金の対応強化 エ．信連と連携した公庫資金有効活用 オ．営農部門担当者との事業間連携による経営相談	
	実績	農業資金 新規実行額：137 百万円 利子助成件数：47 件 農機導入助成件数：0 件	ア．農業融資研修会参加 イ．メイン先への訪問活動は不定期的 ウ．今年度 3 件実行 エ．融資に向けて信連と連携中 オ．相談は対応しているが担い手コンサルティングには至らない	自己評価 ○
5	目標	農業資金 新規実行額：115 百万円 利子助成件数：45 件 農機導入助成件数：7 件	同上	
	実績	農業資金 新規実行額：104 百万円 利子助成件数：33 件	ア．農業融資研修会等研修会参加の他、内部会議でも研修会を実施 イ．融資専任渉外による訪問の他、信用専任渉外との同行による訪問を実施 ウ．農業近代化資金の新規実績 1 件 エ．信連と連携し、公庫資金を活用した新規実行 2 件 オ．営農部門他、農機課との事業間連携を行うも担い手コンサルティングには至らなかった	自己評価 △
6	目標	農業資金 新規実行額：120 百万円 利子助成件数：48 件 農機導入助成件数：8 件	同上	

●重要戦略3 所得増大に向けた販売力強化

< 3年後目指すもの >

安定生産と品質向上の取組みに加えて、高付加価値化、販売を起点とした契約取引と産地間連携拡充による農業者の所得増大、所得の安定化を目指します。

取組項目（1）マーケットインに基づく販売力強化と農業所得の安定化

【責任部署 営農流通部 営農指導課（販売事業）】

《取組施策》①品目別（青果物 / 有機栽培）

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項	
4	目標	人数（部会）：32人 面積：63ha 出荷数量：1,512,000点 販売金額：170,900千円	ア. 国内外の実需者ニーズに基づいた供給量の確保 実需者ニーズに基づいた生産部会での生産計画の検討および調整 イ. 実需者ニーズに基づいた規格・品質の確保 栽培講習会、研修会、目揃え会等の開催	
	実績	販売金額：173,346千円	ア. 地産地消の念願だった地域の学校給食への供給が始まった。 イ. 品目別に目揃え会を開催した。	自己評価 ○
5	目標	人数（部会）：34人 面積：65ha 出荷数量：1,559,000点 販売金額：176,200千円	同上	
	実績	出荷数量：1,589,204点 販売金額：178,353千円	ア. 全農いばらきVF課経由の販売開始。 イ. 生産者定例会、役員会を隔月開催。 全国より視察受入研修。猛暑対策研修。	自己評価 ○
6	目標	人数（部会）：36人 面積：67ha 出荷数量：1,606,000点 販売金額：180,000千円	同上	

【責任部署 柿岡直売所（柿岡支所）】

《取組施策》②より新鮮な野菜の取扱と品質向上

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項	
4	目標	販売金額：224百万円 来店者数：151,500人 購入単価：1,475円/人	ア. 生産者へ品目ごとの規格をより明確化し、鮮度、品質向上に向けた活動 イ. 安全安心な店舗づくりを目指した取組を基盤とし、農業の多面的機能をアピールする広報活動 ウ. 地域の生産者と消費者との交流の場として位置付け利用度の向上	
	実績	販売金額：221百万円 来店者数：143,581人 購入単価：1,541円/人	ア. パート職員による品質チェックを強化した。 イ. 農業使用記録簿の提出改善を実施した。 ウ. 地元幼稚園・保育所の児童の絵画を掲示し、来店者増加への取組を実施した。	自己評価 ○
5	目標	販売金額：227百万円 来店者数：153,000人 購入単価：1,485円/人	同上	
	実績	販売金額：245百万円 来店者数：142,900人 購入単価：1716円/人	同上	自己評価 ○
6	目標	販売金額：231百万円 来店者数：154,000人 購入単価：1,500円/人	同上	

【責任部署 園部直売所（園部支所）】  
 《取組施策》③より新鮮な野菜の取扱と品質向上

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項
4	目標	販売金額：303 百万円 来店者数：226,000 人 購入単価：1,340 円/人	ア. 新型コロナウイルス感染防止の徹底強化 イ. 生産者へ品目ごとの規格をより明確化し、鮮度、品質向上に向けた活動 ウ. 集客率アップに向けたイベントを企画し広範囲な情報発信
	実績	販売金額：298 百万円 来店者数：206,982 人 購入単価：1,440 円/人	ア. 新型コロナウイルス感染防止を徹底した。 イ. パート職員による品質チェック強化を行った。 ウ. 地元保育所の児童の絵画を掲示し、来店者増加への取組を実施した。
5	目標	販売金額：306 百万円 来店者数：226,500 人 購入単価：1,350 円/人	同上
	実績	販売金額：312 百万円 来店者数：210,288 人 購入単価：1,470 円/人	ア. 新型コロナウイルス感染防止を徹底強化した。 イ. パート職員による品質チェックの徹底、強化 ウ. 展示会を実施、地元保育所の絵画の掲示、毎月10日に納豆の日を実施し、集客率増加への取り組みを行った。
6	目標	販売金額：309 百万円 来店者数：227,000 人 購入単価：1,360 円/人	ア. パート職員による品質チェックの徹底、強化 イ. 生産者へ品目ごとの規格をより明確化し、鮮度、品質向上に向けた活動 ウ. 集客率アップに向けたイベントを企画し広範囲な情報発信

取組項目（2）実需者ニーズに応える米の生産・流通・販売の推進

【責任部署 営農流通部 農政企画課（販売事業：米）】  
 《取組施策》①飼料用米等新規需要米への作付転換による所得の安定化

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項
4	目標	新規需要米 作付面積：140ha 数量：840t	ア. 需要に応じた生産の必要性の周知 全国および県内における米をめぐる状況や需要に応じた生産の必要性、国等の支援措置に関する組合員等への周知 イ. 生産性向上等水田経営安定化に向けた取組の推進 転換品目の定着および本作化に向けた収量向上、コスト低減技術の導入、規模拡大による生産の効率化、土づくりなどによる生産性向上等の取組推進
	実績	新規需要米 作付面積：175ha 数量：912t	ア. 需要に応じた生産の必要性を周知し、飼料米 161ha 839t、加工米 14ha 73t の生産を確保した。
5	目標	新規需要米 作付面積：150ha 数量：900t	同上
	実績	新規需要米 作付面積：164.5ha 数量：954.4t	ア. 需要に応じた生産、国等の支援を周知し、飼料米 160.9ha 935.9t 加工米 3.6ha 18.5t の生産を確保した。
6	目標	新規需要米 作付面積：160ha 数量：960t	同上

【責任部署 営農流通部 農政企画課（販売事業：米）】

《取組施策》②事前契約や複数年契約、実需者への直接販売等の安定的な販路の確保と取引拡大

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項	
4	目標	契約件数：7件 販売数量：720t	ア. 事前契約による安定取引の拡大 事前契約、販売方法による安定取引の拡大 イ. 実需者ニーズや消費スタイルの多様化に対応した需要拡大業務用・加工用等用途別の実需者ニーズへの対応や消費者のライフスタイルの変化や健康志向の高まり等に合わせた新たな米需要の喚起と取引拡大	
	実績	契約件数：8件 販売数量：720t	ア. JRクロスステーション、日本精米、日販連を中心に、積極的な事前契約で、安定取引を行った。	自己評価 ○
5	目標	契約件数：8件 販売数量：750t	同上	
	実績	契約件数：9件 販売数量：800t	ア. 事前契約による安定供給をおこなった。	自己評価 ○
6	目標	契約件数：9件 販売数量：810t	同上	



## II. 地域・暮らし

### <重点目標>持続可能で安心して暮らせる豊かな地域社会の確立

JA 新3カ年（令和4年度～令和6年度）計画兼自己改革工程表 「II. 地域・暮らし」

#### ●重要戦略1 JA 暮らしの活動による地域貢献活動の展開

<3年後目指すもの>

地域貢献のためのJA 暮らしの活動を拡充・定着化し、JA と組合員および地域住民が、より強くつながった安心して暮らせる豊かな地域社会を目指します。

#### 取組項目（1）地域貢献のためのJA 暮らしの活動の拡充・定着化

【責任部署 生活課（暮らしの活動）】

《取組施策》①地域住民とのつながりをより強化した活動とJA 事業利用者の増加

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項	
4	目標	移動購買：10回 イベント：3回	ア. 地域・組合員ニーズに応じた暮らしの活動展開による事業利用拡大 「移動直売車」導入による全地区巡回実施によりJAファンづくり、JA 事業への関心を高める活動 直売所で野菜摂取指数（ベジチェック）アピールによる地元農産物の消費拡大と食に対する理解を深める活動	
	実績	移動購買：14回 イベント：4回	ア. 移動購買を行うことにより、車の運転など、買い物に行	自己評価 ○
5	目標	移動購買：10回 イベント：3回	同上	
	実績	移動購買：16回 イベント：6回	ア. 毎月移動購買を実施。事前に必要な物資を確認するな	自己評価 ○
6	目標	移動購買：10回 イベント：3回	同上	

JA 新3カ年（令和4年度～令和6年度）計画兼自己改革工程表 「Ⅱ. 地域・暮らし」

【責任部署 共済課（豊かな暮らし安心安全への支援活動）】

《取組施策》②地域住民とのつながりをより強化した活動とJA事業利用者の増加

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項	
4	目標	開催数各1回	ア. 豊かな地域づくりを支援するくらしの活動の強化社会福祉協議会と連携して支援活動を実施地域の保育施設へ支援活動を実施 イ. 生活に関する不安や悩みを解決するくらしの活動の強化ゆりの郷で広くオレオレ詐欺撲滅活動を展開人生の安心への一つとして終活相談会の開催	
	実績	各1回	ア. 社会福祉協議会と、プロジェクトを立ち上げ、ひとり親世帯へ「やさとお米」を贈呈した。 各直売所で幼稚園児による絵の作品展を実施し、若い世代の家族の来場に繋がった。 イ. 石岡警察署八郷地区交番と連携し、やさ温泉ゆりの郷で、ニセ電話詐欺に対する注意喚起を行った。	自己評価 ○
5	目標	同上	同上	
	実績	各一回	ア. 各直売所で、幼稚園児・小学生による絵や習字の作品展を実施し、若い世代の家族の来店に繋がった。子ども食堂に、（やさとお米）を提供した。 イ. 3Q訪問時に、生活に関する不安や悩みを解決する提案・ニーズ喚起をしながら、組合員・利用者本位の推進を行った。	自己評価 ○
6	目標	同上	同上	

取組項目（2）「いきいき健康づくりプロジェクト」を通じた健康増進活動の強化

【責任部署 金融課（健康増進活動）】

《取組施策》①健康増進活動「いきいき健康づくりプロジェクト」への取組みの実践・定着化

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項	
4	目標	いきいき健康づくりプロジェクトの実践	ア. 地域とのつながり強化のための「こころ」「からだ」「きずな」を軸とした健康増進活動「いきいき健康プロジェクト」への実践の取組み 厚生連と連携した健康意識の啓発活動の展開 年金友の会による趣味の発表会やカラオケ大会などの開催 グラウンドゴルフ大会の開催	
	実績	イベント実施	ア. 年金友の会で、グラウンドゴルフ大会（7/12, 10/26）を実施した。	自己評価 △
5	目標	いきいき健康づくりプロジェクトの拡充	同上	
	実績	イベント実施	ア. 年金友の会で、グラウンドゴルフ大会（7/4, 10/17）を実施した。	自己評価 △
6	目標	いきいき健康づくりプロジェクトの定着	同上	

## ●重要戦略2 女性・青年農業者の活躍促進

&lt; 3年後目指すもの &gt;

女性・青年農業者のJA運営や地域・社会への参加・参画の拡充を目指します。

## 取組項目（1）JA女性組織・青年組織の活性化

【責任部署 生活課（指導事業）】

《取組施策》①JA女性組織との対話を強化し、組織活動の活性化支援

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項	
4	目標	メンバーの交流	ア. 各種研修会参加による組織の育成 イ. 健康教室の開催、料理教室の開催	
	実績	イベント等3回実施	ア. 県南女性部役員会へ参加しました。 イ. ①女性向け刈払い機実演講習会（6/1）を行った。 ②寄せ植え教室（6/22）を開催した。 ③料理教室（8/25）を開催して動画配信を行った。	自己評価 ○
5	目標	世代間交流	同上	
	実績	イベント等4回実施	ア. 県南女性部役員会へ参加した。 イ. ①寄せ植え教室（6/8）を開催した。 ②展示会・JAまつりの出店協力（3/17・18, 10/20・21） ③輪投げ大会健康教室へ参加（11/10）	自己評価 ○
6	目標	次世代メンバーの拡大	同上	

## 取組項目（2）JA女性組織・青年組織メンバーの組合員化

【責任部署 生活課・営農指導課（指導事業・JA運営）】

《取組施策》①各JA部会活動等への参加による組合員促進

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項	
4	目標	女性、青年組織の策定	ア. 各部会からの意見交換会開催	
	実績	全体女性部役員会	ア. 新規女性部員加入への意見交換を行った。	自己評価 △
5	目標	組織メンバーの加入促進	ア. 組合員のメリット説明や理解促進	
	実績	全体女性部役員会	同上	自己評価 △
6	目標	同上	同上	

## 取組項目（3）女性・青年農業者の理事への登用

【責任部署 総務課（経営管理・JA運営）】

《取組施策》①各地区別委員会で、女性農業者の役員への登用提案

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項	
4	目標	地区委員会での検討	ア. 地区委員会を通して女性部、農業者研修会や交流会で、意見交換を開催し理解を深める。	
	実績	地区別委員会	ア. 年2回地区別委員会を開催し、女性役員登用の意見交換を含め協議した。	自己評価 ○
5	目標	地区委員会での実践	同上	
	実績	各地区委員会	ア. 役員を含め運営委員も女性の参加を増やした。	自己評価 ○
6	目標	女性役員 15%	同上	

## 取組項目（4）女性・青年農業者の地域での活躍促進

【責任部署 生活課（指導事業・JA運営）】

《取組施策》①行政や企業・団体、教育機関との連携を図り、女性農業者が地域社会で活躍できる環境を整備し、さらなる活動を促進

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項	
4	目標	他の農業団体との連携	ア. 女性・青年農業者が地域で活躍する場をつくるための情報収集	
	実績	消費者大会参加	ア. 茨城県消費者団体の講演会「考えよう、大人になるとできること、気を付けること」に参加し情報収集を行った。	自己評価 ○
5	目標	他の農業団体との継続協議	同上	
	実績	女性大会参加	ア. いばらき文化フェスタ・女性大会に参加し、女性部相互の理解結びつきを深めるとともに文化活動の成果、進展をはかった。	自己評価 ○
6	目標	同上	同上	

### Ⅲ. 組織・経営

#### <重点目標> 農業、地域・くらしを支える組織・事業基盤強化

JA 新3カ年（令和4年度～令和6年度）計画兼自己改革工程表 「Ⅲ. 組織・経営」

#### ●重要戦略1 地域・組織・事業基盤を支える「人財」の育成・確保

<3年後目指すもの>

役職員教育を通じて、加速する環境変化に対応する人財を育成し、協同組合運動者としての資質とコミュニケーション能力の向上を図り、地域・組織・事業基盤を支えます。

#### 取組項目（1）JA 役職員行動基準およびJA 教育研修計画の実践

【責任部署 総務課（役職員教育）】

《取組施策》①行動基準の設置

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項
4	目標	行動基準の実践	ア. 行動基準の定着 イ. 唱和等の習慣化と日常行動化の定着
	実績	行動基準制定	ア. 行動基準を制定した。 イ. 毎月理事会で綱領唱和を実施した。 <span style="float: right;">自己評価 ○</span>
5	目標	同上	同上
	実績	行動基準制定	ア. 毎週朝礼等で行動基準の唱和を実施した。理事会でも綱領唱和を行った。 <span style="float: right;">自己評価 ○</span>
6	目標	同上	同上

#### 取組項目（2）組合員組織学習活動の充実

【責任部署 総務課（指導事業：教育広報、役職員教育）】

《取組施策》①地域組合員向けのセミナーや学習会の実施

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項
4	目標	学習会の策定	ア. 地域組合員やJA 役職員間の交流や学習活動 イ. 組合員とJA 役職員とのコミュニケーション強化
	実績	地域交流の実施	ア. 年間3回の展示会を開催し、地域の組合員を含め交流を行った。 イ. 役職員、パートを含め、コンプライアンス学習会を実施した。 <span style="float: right;">自己評価 ○</span>
5	目標	学習会の定例化	同上
	実績	地域交流の実施	ア. 展示会を2回開催し組合員との交流を行った。 イ. 各地区運営委員会を年2回開催。組合員の意見を聞きながら交流を行った。 <span style="float: right;">自己評価 ○</span>
6	目標	同上	同上

## 取組項目（3）有能な人財確保に向けた採用活動の高度化

【責任部署 総務課（人事労務）】

《取組施策》①広範囲での SNS 募集や、就職説明会への参加

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項	
4	目標	専門能力を有する人財の計画的採用	ア. 各業務の要員と必要資格また、現状の課題を認識し、将来に向けた職員採用への取り組み	
	実績	採用計画を検討した。	ア. 常勤役員を中心に、職員面接を実施し、現状の課題を把握した中で、パートを含め経験者の採用計画や組織体制を検討した。	自己評価 ○
5	目標	同上	同上	
	実績	採用計画を検討した。	ア. 近隣の高校を訪問し採用担当者に募集の案内を行った。	自己評価 ○
6	目標	同上	同上	

## 取組項目（4）多様な人財が活躍できる職場づくりの実践

【責任部署 総務課（人事労務）】

《取組施策》①職場環境の整備

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項	
4	目標	25歳以下離職率10%以下	ア. 常勤役員による個別面接で課題を把握 イ. 部署毎に指導者を教育	
	実績	0%	ア. 全職員に個別面接を実施した。	自己評価 ○
5	目標	同上	同上	
	実績	0%	ア. パート、嘱託を含めた全職員と個別面談を実施した。	自己評価 ○
6	目標	同上	同上	

●重要戦略2 収益構造並びに社会情勢の変化に対応したJA経営基盤の確立・強化

<3年後目指すもの>

マイナス金利等の影響による収益構造の変化や、コロナ禍を契機とした社会情勢の変化に対応するため、将来見通しを踏まえた経営計画の策定と実践、PDCAに基づく進捗管理により、持続可能なJA経営基盤が確立・強化された状態を目指します。

また、リスク情報の主体的な収集と適切な経営判断を可能とするためのガバナンス・内部統制の強化により、経営の健全性が確保された状態を目指します。

<中長期の収支見通し>

こうした情勢のなか、当JAとして現状のまま事業改革を進めなかった場合の5年後の成行きについてシミュレーションを行ったところ、5年後には現状と比べて事業利益が大幅に減少する見通しとなりました。事業利益減少の要因はJA全体の収支構造にあり、事業総利益の減少ペースが事業管理費の減少ペースを上回る見通しとなっております。事業管理費の削減が限界を迎える中、もう一段の費用削減に向けた検討が求められるとともに全ての事業において事業総利益の維持・拡大に向けた取り組みをすすめる必要があります。

取組項目（1）収支シミュレーションおよび経営指標の活用による経営計画の「見える化」

【責任部署 総務課（経営管理）】

《取組施策》①収支シミュレーションおよび経営指標の活用による経営計画の「見える化」

年度	目標値 (KPI) または実績値	取組事項
4	目標 県統一財務3指標 (事業管理費比率93%以下 労働分配率65%以下 労働生産性920万円以上) 自己資本比率8%以上	ア. PDCAに基づく進捗管理を行い、3カ年計画兼自己改革工程表を確実に実践して、県統一財務3指標・部門別財務3指標の達成と、適正利益・自己資本比率の確保 イ. 事業ごとのトレンド等を踏まえた中長期の収支シミュレーションに基づき、JAのビジョンと県統一財務3指標・部門別財務3指標達成に必要な次年度以降の適正利益を設定 ウ. 組合員との対話活動で把握した意見・要望・評価、現状分析（環境分析・課題認識）、中長期のシミュレーションを踏まえ、更なる改革の取組のため、3カ年計画兼自己改革工程表の次年度以降の計画への反映
	実績 事業管理費率98.7% 労働分配率76.4% 労働生産性866万円 自己資本比率17.46%	ア. 内部会議で月別に進捗管理を行い利益の確保を役職員で達成した。 イ. 5年後の適正利益を目指し収支シミュレーションを設定した。 ウ. 組合員からの要望、意見を現状分析し今後の体制や自己改革への計画を予定した。
5	目標 同上	同上
	実績 事業管理費率94.2% 労働分配率72.8% 労働生産性971万円 自己資本比率17.42%	ア. 内部会議にて月別に進捗管理を行い利益の確保を達成した。 イ. 5年後収支シミュレーションを設定した。 ウ. 組合員からの要望、意見を集約し今後の体制や自己改革に生かした。
6	目標 同上	同上

## 取組項目（2）着実な事業モデルの転換等による適正利益の確保

## &lt;信用、共済事業の取組み&gt;

【責任部署 金融課 共済課】

《取組施策》①組合員・利用者本位のライフプランサポートの実践と信用・共済業務効率化等の環境変化に対応するJA本支所体制の整備

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項	
4	目標	目指すべきJA本支所のあり方の決定	ア. 組合員・利用者本位のライフプランサポートの実践と信用・共済業務効率化等の環境変化に対応し、今後目指すべきJA本支所の体制整備スケジュールを検討	
	実績	検討した。	ア. 内部会議を通して検討し理事会報告を行った。	自己評価 ○
5	目標	支所人員県域最低基準・整備スケジュールの充足	ア. 目指すべきJA本支所のあり方・整備スケジュールに基づき、本支所体制の整備	
	実績	検討中	ア. 組合員・利用者本位のライフプランサポートの体制整備は行えたが、支店管理者、LAトレーナーの体制が整っていなかった。	自己評価 △
6	目標	同上	同上	

## &lt;購買 販売事業の取組み&gt;

【責任部署 営農指導課 農政企画課】

《取組施策》②組合員、利用者への予約注文対応の集約化

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項	
4	目標	重点品目集約による価格低減の推進	ア. 新型コロナウイルスに伴う非接触対応の検討 イ. 営農指導員と連携し最適資材の検討	
	実績	実施した	ア. 新型コロナウイルス感染防止は注文書を配布し、電話確認により非接触対応を実施した。 イ. 組合員へ配布する最適資材の検討として、肥料・農薬注文書の掲載内容を営農指導員と見直した。	自己評価 ○
5	目標	重点品目集約による価格低減の拡大	ア. 新型コロナウイルスに伴う非接触対応策の強化 イ. 大型規格品の拡充を図り商系からの切替推進	
	実績	実施した	ア. コロナが終息し通常の個別注文書により予約注文を行った。 イ. 有機質、低コストの新たな資材の普及に取り組んだ。	自己評価 ○
6	目標	同上	同上	



## 取組項目（3）経営成果（適正水準の利益確保）に伴う組合員利益還元の継続実施

【責任部署 総務課（経営管理）】

《取組施策》①経営成果（適正水準の利益確保）に伴う組合員利益還元の継続実施

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項
4	目標	組合員利益還元の実施	ア. 事業管理費比率の達成及び一定の自己資本比率を維持した上で、購買事業等による利用者への割り戻しや利用分量配当を優先した配当施策などの組合員への利益還元の実施
	実績	継続実施した。	ア. 継続実施を行った。 自己評価 ○
5	目標	同上	同上
	実績	同上	ア. 事業分量配当、出資配当を行った。 自己評価 ○
6	目標	同上	同上

## 取組項目（4）リスク情報を踏まえた適切な経営判断を可能とするガバナンス・内部統制の強化

【機関 理事会】

《取組施策》①リスク情報を踏まえた適切な経営判断を可能とするガバナンスの実施

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項
4	目標	「内部統制システム基本方針」を実践して、JA全体の内部統制システムの適切な構築・運用	ア. 「内部統制システム基本方針」に基づき理事会が主導し、理事は経営のリスク情報を速やかに把握し、適切な経営判断と対応を行うことができるガバナンスの確立に取り組みます。 イ. 代表理事及び業務執行を担当する理事が適切な業務執行の確保がされるようリスク管理体制及び法令遵守の体制（内部統制システム）を構築・運用し、理事会がそのことを適切に監督した
	実績	実施した。	ア. 「内部統制システム基本方針」に基づき理事会が主導し適切なガバナンス確立に取り組みをした。 イ. 代表理事及び業務執行担当理事が適切な業務執行の確保がされるようリスク管理体制及び法令遵守の体制（内部統制システム）を構築・運用し、理事会がそのことを適切に監督した。 自己評価 ○
5	目標	同上	同上
	実績	同上	同上 自己評価 ○
6	目標	同上	同上

## 【機関 監事】

《取組施策》②組合の監督機能の一翼を担い、組合員の負託を受けた独立の機関としての監事監査の実施

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項
4	目標	法令・諸規定に基づく監事の職責を遂行し、監事監査報告において意見の表明	<p>ア. 理事会決議その他における理事の意思決定の状況及び理事会の監督義務の履行状況を監視・検証</p> <p>イ. 代表理事及び業務執行を担当する理事が適切な業務執行の確保がされるようリスク管理体制及び法令遵守の体制（内部統制システム）を構築・運用し、理事会がそのことを適切に監督しているかどうかを監視・検証</p> <p>ウ. 当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書が適切に記載されているかを監査</p> <p>エ. 会計監査の適正性及び信頼性を確保するため、会計監査人が公正不偏の態度及び独立の立場を保持し、職業的専門家として適切な監査を実施しているかを監視・検証</p>
	実績	実施した	<p>ア. 理事会を含む重要な会議に出席し、履行状況を監視・検証した。</p> <p>イ. 毎月のリスク情報報告・事務リスク規程改正等に注視し、監視・検証した。</p> <p>ウ. 下期監事監査にて対応した。</p> <p>エ. 期中監査Ⅰ・予備調査立会・監査法人とのコミュニケーションを通じ、検証した。</p>
5	目標	同上	同上
	実績	実施した	同上
6	目標	同上	同上

自己評価
○

自己評価
○

## 【責任部署 リスク管理課 監査室（コンプライアンス・内部統制）】

《取組施策》③本支店における内部統制の強化

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項
4	目標	コンプライアンス・プログラムの取組を100%実施	ア. 支店・事業所は、担当者の事務手続の遵守徹底及び管理職の知識向上・経験蓄積による検証強化に取り組み、日常業務において内部統制を整備・運用 イ. 本店事業統括部署は、本支店・事業所における担当部門の業務統制活動の結果を評価し、事務リスク等について原因分析及改善策を立案して、指導機能を発揮 ウ. コンプライアンス統括部署は、JA全体としての統制活動の結果を定期的に取りまとめて評価し、原因を分析して監督機能を発揮
	実績	実施した。	ア. 内部統制にかかる現場点検を計画通り行った。 イ. 原因分析・改善策は立てているが、一部で改善がみられていなかった。 ウ. 定期的な取りまとめは行っているが、一部で点検結果に対する改善がみられていなかった。
5	目標	同上	同上
	実績	一部未実地項目があった。	ア. 内部統制にかかる現場点検が、一部の部署で実施できなかった。 イ. 原因分析・改善策を具体的に指導できなかった。 ウ. 定期的な取りまとめは行っているが、原因を分析し改善するまでには至らなかった。
6	目標	同上	同上

## 【責任部署 総務課（人事教育・内部統制）】

《取組施策》④取引の客観的な検証及び業務の有効性・効率性についての目線を持った職員の育成

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項
4	目標	設定なし	
	実績		
5	目標	農協内部監査士の資格保有者を3名以上増員	農協内部監査士の資格保有者を増やす人材育成計画を策定・遂行する。
	実績	増員無し	内部監査士検定試験受験者7名（内一部科目合格者6名）
6	目標	同上	同上

自己評価  
×

## ●重要戦略3. JA事業・活動に対する組合員の意思反映・運営参画の強化

&lt; 3年後目指すもの &gt;

組合員と徹底的に対話することにより、組合員の意思に基づいた組織・事業運営がされている状態を目指します。

また、構成割合が高まりつつある准組合員について、「農業や地域経済の発展を農業者と共に支えるパートナー」としてJA・地域農業への理解を深めるとともに、准組合員の意見・要望がJAの事業・活動に反映されている状態を目指します。

## 取組項目（1）「組合員との対話運動」の継続・強化

【責任部署 総務課】

《取組施策》①組合員との対話と組織活動への参加

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項	
4	目標	・正組合員 (年1回以上、対面による対話) ・准組合員 (1回以上対面非対面問わず対話) ・フィードバック年1回	ア. 事業利用・地区運営委員会・組合員担当制等による対面およびSNSの活用による非対面により、組合員（正組合員・准組合員）との対話活動を実施し、3カ年計画兼自己改革工程表の内容・取組状況や成果を伝え、組合員の意見・要望を聴く イ. 把握した意見・要望については、JA広報誌等を通じて対応方針のフィードバック	
	実績	正組合員1回 准組合員0回	ア. 組合員担当制を実施し、意見要望を把握した。	自己評価 △
5	目標	同上	同上	
	実績	正組合員1回 准組合員0回	ア. 各地区運営委員会を年2回開催し、意見要望を聞いた。 イ. 把握した意見・要望については広報誌や運営委員会で報告した。	自己評価 ○
6	目標	次期3カ年計画への反映	ア. すべての組合員の声を次期3カ年計画へ反映	

取組項目（2）准組合員の意味反映・運営参画の促進

【責任部署 総務課】

《取組施策》①准組合員の意味反映の取組方針に基づく実践

<准組合員の意味反映及び事業利用についての方針>

自己改革の実践にあたっては、改革の評価の把握に向けた正組合員との対話や部会組織のみならず、地域に根ざしたJAを目指して直売所利用者やJA展示会等の利用者を通じて「地域経済の発展を農業者とともに支えるパートナー」である准組合員の声も聴くことで、正組合員と准組合員が一体となったJA運営を実現します。

組合員の評価を踏まえながら必要な見直しを行います。

また、農業振興の応援団でもある准組合員の事業利用にあたっては、正・准組合員の利用状況を把握したうえで、改革の目的である「農業者の所得増大」につながるよう取り組みます。

年度	目標値（KPI）または実績値		取組事項	
4	目標	立案・実践	ア. 把握した意見・要望の意味反映と実践	
	実績	内部会議で協議	ア. 直売所利用者やJA展示会等の利用者を通じて声を聴く又は、アンケート調査を検討する。	自己評価 △
5	目標	同上	同上	
	実績	内部会議で協議	ア. 直売所利用者やJA展示会等の利用者を通じて声を聞く又は、アンケート調査を実施できなかった。	自己評価 △
6	目標	次期3カ年計画への反映	ア. すべての組合員の声下次期3カ年計画へ反映	